

第5回徳島市立中学校制服のあり方検討委員会 議事録（概要）

日時 令和7年3月28日（金）10時00分～11時00分

場所 徳島市役所11階 教育委員会室

◆ 議 事

（1）標準制服デザイン総選挙の結果について（資料1）

（委員長）

事務局から説明があったとおり、第1位（タイプE）と第2位（タイプC）が非常に拮抗する結果となった。当初の想定どおり、単純に多数決により決定するとした場合は、Eを選定することとなるが、一方で、実際に標準制服を着用する（世代である）児童生徒の意向を尊重するのであれば、Cという結論もあるかと思う。このことについて、ご意見を頂戴したい。

（委員）

投票結果が、子どもの目線と親の目線ではっきり分かれている。確かに、最初は多数決で決めると言っていたが、選挙の結果を見ると、明らかに子どもと親で結果が分かれているので、実際に着用する（世代である）子ども達の意見を重視してはどうかと考える。CとEで値段が違うことはあるのか。

（サポートメーカー）

若干値段が異なる可能性はあるが、あるとしても少しである。

私からも少し補足させていただきたいのだが、今回は悩ましい点がある。まず、先ほどご意見があったように親と子どもで意見が割れてしまったこと。もうひとつは、1位のEは藍染をイメージして選んだ生地であり、他のメーカーを含め全国でまだ採用されていないデザインであるということ。Cは兵庫県、山口県、滋賀県、静岡県などで採用実績があり、静岡県では市の統一制服として採用されているが、Eを選んだ場合は徳島市が全国で初めての採用となる。

（委員）

CとEで、機能面の違いはあるか。

（サポートメーカー）

機能面は同じである。生地を作る縫製メーカーも同じである。

(委員)

私の意見としては、子どもが選んだほうを選択したいという気持ちがある。中学生の投票結果を見ると、タイプEは3位である。これを踏まえても、子どもの意見を尊重するとCなのかなと思う。

(委員)

子ども達が着るものなので、子どもの投票数が多いCでいいのかなと思う。大人もCの投票数が多いので。他の市でも採用されているとのことだったので、愛されるデザインなのかなと。

(サポートメーカー)

人気投票をすると、やはり票が入るデザインである。

(委員)

子どもの意見を尊重するのでよいと思う。

(委員)

デザインよりも説明文の藍染という言葉で選んだ、という保護者が何人かいたので、Eに投票している人の中には、全部のデザインを比較してというより、藍染の表記があったDとEを比較してEを選んでいる人もいると思う。

(委員)

皆さんと同じ意見である。私も藍染というのが気になっていたが、徳島のブランド感といったことを考えてしまう大人と、デザインの美しさや自分が着たいものを選ぶ子どもたちで、明確に分かれた結果となっている。子ども達の思いを実現させてあげたいと思う。

(委員)

先ほどの話でいくと、子ども達はCのかっこいいという言葉に惹かれたのかなと思ったりもするが、子ども達が選んだものでよいかなと思う。

それと、Cは今まで実績があるということで、価格も少し安価になることが期待できるのかなと。

(委員長)

それでは、子ども達の意見を重視して、タイプCを徳島市立中学校の標準制服として採用することとする。

(2) 標準制服デザインに対する児童生徒意見について (資料2)

(委員長)

ただいま事務局から説明があった内容のうち、標準制服への反映が可能な意見としては、夏の上衣についてポロシャツの選択肢に白色を加える、半袖だけでなく長袖の選択肢を加える、などがあると思う。このことについて、まずはサポートメーカーのご意見を伺いたい。

(サポートメーカー)

アンケート結果を見て、紺色に違和感があるという意見が結構あったことから、白色のポロシャツを準備している。白色でも透けない生地のパロシャツもある。長袖のパロシャツや、カッターシャツについても対応可能である。

ただ、シャツの生地に関しては、メーカー各社が独自の機能性を持った生地を使用しており生地を指定するのが難しいため、色や型のみ指定することとさせていただきたい。

(委員長)

ただいまのサポートメーカーからのご意見を踏まえ、児童生徒意見をどのように取り扱うか、委員の皆様からご意見を頂戴したい。

(委員)

先ほど、白色でも透けないポロシャツの話があったが、生地の指定ができないということは、メーカーによっては透けたり透けなかったりすることになるのか。

(サポートメーカー)

各社、透けない素材を持っているはずである。ただ、メーカーによって透ける、透けないという判断が若干異なるので、透けにくさに差が出る可能性はある。

(委員)

標準制服を購入する際、販売店によって取り扱うメーカーが異なるということか。それともメーカー違いの制服が何種類かあって、その中から選ぶようになるのか。

(サポートメーカー)

販売店によって取り扱うメーカーが異なる。また、同じメーカーの制服でも販売店によって価格が違うことが起こり得る。

(委員)

ポロシャツについては、白色か紺色のいずれかになるのか。

(事務局)

事務局として想定しているのは、現在は標準制服のポロシャツを紺色のみとしているが、白色や長袖を選択肢に加えて、学校ごとに保護者や生徒と打ち合わせをして、どれを採用するかを選んでもらう形にしてはどうかと考えている。

(委員)

選択肢を増やすことによるメリットはわかるが、デメリットは何かあるか。

(サポートメーカー)

販売店やメーカーのデメリットとしては、どれだけ売れるかわからないものをどのように準備するかという点である。また、買う側のデメリットとしては、どれを買ったらよいのかという悩みが出てくることが、友達と同じ色が欲しいと言われて後から買い足すといったことが起きる可能性がある。

(委員)

今後、標準制服としてどれを採用するかについて、各学校と保護者が話し合える場があるということか。

(事務局)

その予定である。4月に市教委から学校に対し、令和9年度から標準制服を採用するかどうか、また採用する学校については標準制服のアイテムのうち何を採用するかについての調査依頼を行い、6月下旬に回答をいただく予定である。その期間内に、各学校で保護者の方や生徒たちとお話をした上で最終決定していただきたいと考えている。

(委員)

その選択肢の中に、先ほど話にあった白色、紺色や長袖というのを加えて、その中から選べるということか。

(事務局)

そうである。

(委員)

学校ごとに選択するのではなく、市内の中学校は全部統一してはどうか。白色も紺色も長袖も全部可というのを市教委で決めてもらったほうが、学校間で差が出ないのでよいのではないか。

(事務局)

では、白色、紺色、長袖を全部採用するということで整理をして、あり方検討委員会や市教委としてはこのような選択肢を用意したので各学校においてできるだけ広い選択肢を選んでいただきたい、ということを来年度の校長会でお話させていただく。

(委員)

なぜ紺色のポロシャツが不評なのか。紺色の生地は白色と比較して暑いということはあるのか。

(サポートメーカー)

そのような意見もあった。最初、紺色のポロシャツを提案した理由は、透けにくい制服がよいという意見が多かったためであるが、紺色は暑そうというイメージがあるのか、そういった意見が出ている。また、紺色の長袖ポロシャツを採用した場合、白色と比べると威圧感がある。

ポロシャツだけではなく、カットシャツも選択可能とするのか。

(事務局)

夏の上衣について、ポロシャツではなくカットシャツタイプを使用したいという意見もあった。幅広くするのであれば、カットシャツの半袖、長袖も採用してよいのではないかと考えているが、それでよろしいか。

(委員)

標準制服を導入したとしても、兄弟からのお下がりで現在の制服を着用するのは問題なかったと思うので、それであれば、現在の制服がカットシャツなので標準制服でカットシャツを採用しても問題ないと思う。

(委員長)

では、夏の上衣について、ポロシャツの選択肢に白色を加え、それぞれ半袖と長袖を選択できることとし、半袖と長袖のカットシャツも選択肢に加えることとする。

(事務局)

議題から少し外れるが、冬用のブレザーの中に着こむことができるベストやニット、カーディガンといった寒暖調整アイテムを標準制服として採用するかどうかについて、ご意見を頂戴したい。

(委員)

値段によると思う。

(委員)

寒暖調整については各学校で個別に対応されていて、制服以外の上着の着用を可能としている学校や、体操服に着替えて過ごしてもよいという指導をしている学校もあるので、寒暖調整のアイテムが必要ない学校もあると思う。

(事務局)

では、現在中学校の運用がどうなっているのかを調査した上で、現行のルールをそのまま踏襲して寒暖調整アイテムを不要とするのか、もしくは新たに標準制服として寒暖調整アイテムを加えるのかについて、各校の校長先生とすり合わせをして整理した上で、ご提案させていただく。

(3) 今後の進め方について (資料3)

(委員)

当初は、各学校の区別ができないのでワッペンがあったほうがいいのかとの話であったが、校長会でいろいろと話を聞いた結果、ワッペンはいらないのではないかと考えている。というのも、ワッペンがあると転校した際に買い替える必要があるが、ワッペンの値段も約二千元と高いので、それなら最初からワッペンがないほうがよいのでは、との意見が出ていた。

(事務局)

事務局のほうでも、ワッペンについて話をしていた。名札は縫いつけではなく、プラスチック製の安全ピン等で付け外しができるものになると思うが、その場合、名札の位置とワッペンの位置が重なってしまう上に、胸ポケットにペン等を付けるとなると、さらにワッペンが隠れてしまうので、それに二千元はどうなのかなど。それであれば、ワッペンをなくしてその代わりに、例えば名札に校章をプリントしたものを差し込みできるようにするという形もあると思うので、今後考えていきたい。

○ その他

(委員)

ネクタイとリボンが選べるとなっているが、子ども達は選択できることによって、自分がどちらを選択するかという悩みが増えてしまうので、できれば全員ネクタイにしてほしいという意見があったので、検討していただきたい。

(委員長)

今の意見について、いかがか。

(委員)

統一したほうが、迷わずにすむ。ただ、リボンが良いという子もいるとは思う。

(委員)

高校になると、男女関係なく全員ネクタイという学校もある。ネクタイやリボンを選択する必要があると、なぜそれを選んだのかを聞かれたり、その理由を考えたりすることが負担になるとの意見があったので、全員ネクタイに統一したほうがよいと思う。

(委員)

想像であるが、標準制服でポロシャツを採用した場合、普段はネクタイをせずに生活して、式典の時だけネクタイを着けるようになると思う。それであれば、ネクタイがそもそもいらなくなるかもしれない。

(副委員長)

リボンではなくネクタイがよいとか、ネクタイはいらないとか様々な意見があると思う。その中で、リボンの選択肢はなくてもよいかなと思う。

(委員長)

では、標準制服の識別アイテムの選択肢としてリボンとネクタイがあったが、ネクタイのみとしてよろしいか。

(委員一同)

異議なし。

(委員長)

では、ネクタイのみとすることに決定する。

－ 終 了 －